

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

子宮摘出様式による子宮体癌予後の後方視的検討

【目的】

子宮体がんに対して4つの子宮摘出方法（①単純子宮全摘術 ②拡単純子宮全摘術 ③準広汎子宮全摘術 ④広汎子宮全摘術：子宮周囲の組織や膣壁の摘出度合で区別される）があり、主に病気の進行度合いで選択されていますが、詳細な定義などはガイドラインにおいて明記されていません。そのため、横浜市立大学附属病院の関連病院において手術が行われた子宮体がんの方について、子宮摘出方法の違いによる再発率や再発部位などを調査し、子宮摘出様式による術後再発率およびその部位の差異を評価し、施設間の子宮摘出様式の統一と標準化を目的とします。

【対象】

2001年1月から2012年12月までに術前の手術進行期分類にてⅠ～Ⅲ期と診断され、初回治療として手術が行われた子宮体がんの方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が調査用紙に入力し、研究代表者へメールにて送付します。送付された情報を研究代表者が解析し、国内外の学会での公開や論文として公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（術式、診断時年齢、手術日、手術時間、出血量、細胞診結果、組織型、手術後治療、再発部位、術後再発期間 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2018年3月31日まで

【研究組織】

研究参加施設（横浜市立大学附属病院の関連病院）

大和市立病院、横浜市立大学、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立市民病院、横浜労災病院
横浜南共済病院、済生会横浜市南部病院、小田原市立病院、横須賀共済病院、国立病院機構 横浜医療センター
神奈川県立がんセンター

【研究代表者】

大和市立病院 産婦人科 長谷川 哲哉

【当院の研究責任者】

産婦人科 茂田 博行

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 産婦人科 茂田 博行

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。